

周山地区において事業説明会を開催しました

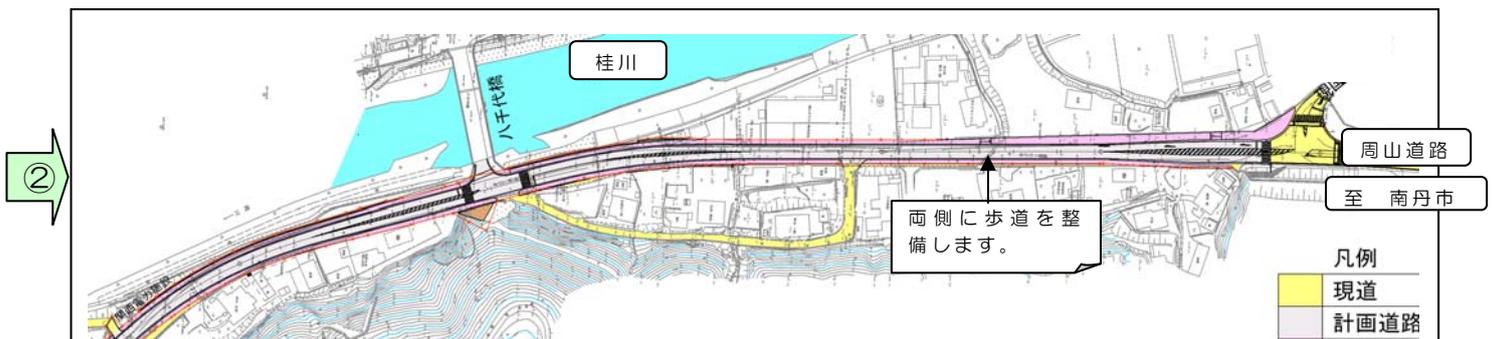
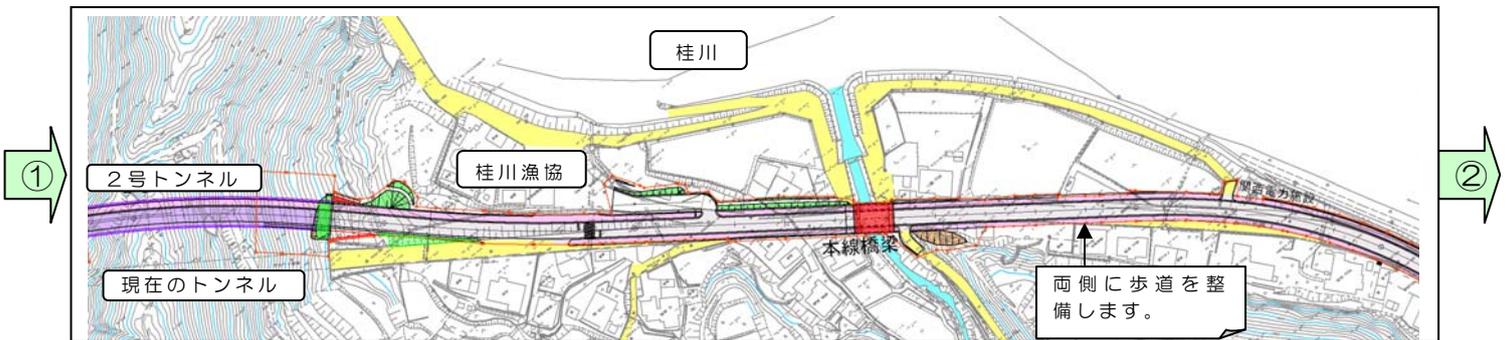
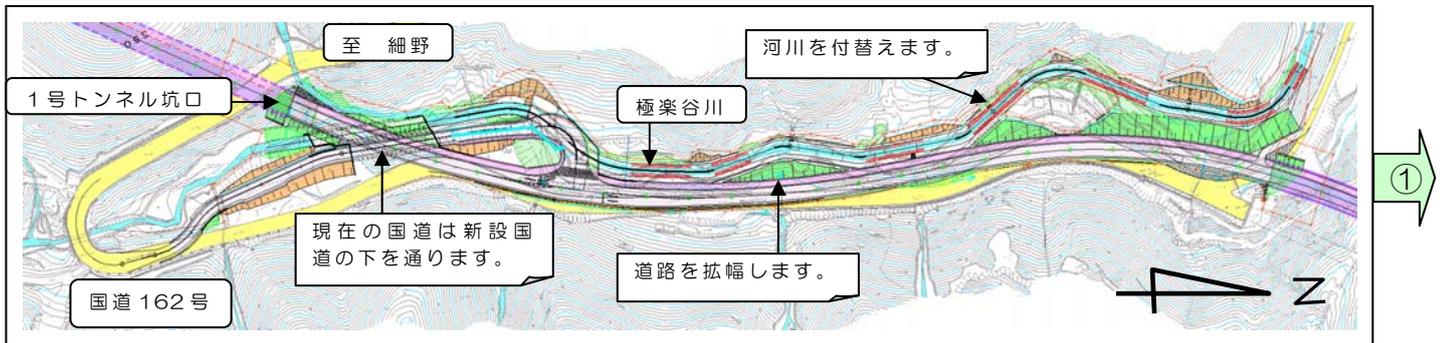
平成20年11月26日(水)、右京区役所京北出張所3階大会議室において、周山地区の皆様へ、現在の進捗状況、今後の事業の進め方等について説明会を開催しました。

当日は、平日の夜にもかかわらず21名の方にご出席いただきました。ありがとうございました。今後も、皆様のご意見を伺いながら、一步一步、着実に事業を進めてまいります。

説明会当日の様子



周山地区の工事概要



京都市から説明した主な内容

○現在の事業の進捗状況(平成20年11月時点)

調査	新設橋梁部等の地質調査を実施
用地買収	細野地区の進入路部分及び1号トンネルの両坑口での用地取得推進
詳細設計	トンネル発注に向け最終調整
工事	1号トンネルの掘削は、確実に平成26年度に完成させるため、両方向からの掘削に変更し、細野側において準備工事に着手

○周山地区での今後の予定

境界立会	現栗尾トンネルから北へ周山道路までの区間の境界確定を実施
用地測量	上記区間の用地測量を実施 (平成21年1月～3月(予定))
用地買収	1号トンネルの周山側坑口部より順次、用地交渉を実施
工事	平成21年度に議会承認の後、1号トンネル工事の契約(予定)

皆さんからのご質問

皆様の生活道路である国道162号に与える影響を少なくする工事手法を検討し、地球温暖化防止のため、できるかぎりCO2の排出を抑える工法を検討してまいります。

○質問 栗尾バイパス事業のような大きな事業が本当に平成26年度までにできるのか。

答 平成26年度完成を目指しています。4.3kmの栗尾バイパスを10年間で完成させるには、皆様のご協力が不可欠です。

○質問 国道162号の栗尾峠付近は、道路の路肩が傷んでいる。これから工事が始まると工事用車両が多く通行し、さらに損傷が激しくなることが予想される。しっかりと対策を講じて欲しい。

答 道路の損傷が懸念される場合、その対策を講じていきます。

○質問 トンネルの残土はどこに運ぶのか。

答 残土の処分先はまだ確定していません。搬出方法によっては、特に通勤時間帯など、ご迷惑をお掛けすることが想定されます。道路の損傷や環境にも配慮して、搬出先、方法を検討していきます。

○質問 工事中は地元に対して何らかの影響を与えることになる。地元の了解を得てから工事を実施して欲しい。

答 今後も地元説明会を開催し、状況をお知らせしながら工事を進めていきます。

○質問 市内中心部から国道162号を通過して周山へ向かう大型車両をできるだけ走らさない努力をして欲しい。

答 一般車両に規制をかけることはできませんが、本事業での工事においては、できる限り地元への影響が小さくなるように検討していきます。

○質問 2号トンネルの建設に伴い、現在の漁協への進入路はどうなるのか。

答 漁協への進入路は、国道拡幅に伴い、一部取り付け形状を変更しますが、安全に進入できるよう検討していきます。

栗尾峠を抜く大事業への熱い想いが届きました！

(熱い思い その1)

「夢の実現に期待」

貴局発行の「栗尾通信」も、この程第八号を発行されましたが、創刊号より読ませていただき栗尾トンネルの実現に向けての過程をお知らせいただき有難く思っています。そして、担当職員の方々の御苦勞に感謝とお礼を申し上げます。私達住民は、古い昔より国道162号に指定されたこの道路を、住民の生活道としての大切な道となっています。京都市へ行くには当初は歩いてでしたが、昭和の始め頃よりバスが運行され明るい展望が開け、其の後、現在ではマイカーの主導の時代へと進み、それに従って、この道路の使命は、より大きなものになってきました。くねくね曲った峠道を何とかならないか・・・と云うのが私達の切なる願いでした。それに応えて昭和48年に笠トンネルが開通し、昭和35～41年にかけて舗装も完了し、夢のような道となり、其の上に、中川トンネルも実現し時代の要請に応えていただき、住民全てに喜ばしさを分かち合わせていただきました。そして、私達が最後の願いであった栗尾峠のトンネル化が関係各位の御努力によって実現の運びになりつつあることは、私達の夢がようやく叶うことの嬉しさに小躍りするところです。この実現は、私達住民が命と幸せ、そして希望を与えていただくことに感謝し、実現の日を期待させていただきます。

(熱い思い その2)

栗尾通信編集部様へ

いつも栗尾通信は興味深く読ませていただいております。さて本題です、今、右京区京北の人口は7千人を切っています。このまま過疎化が続けば、京北はゴーストタウン化します。この過疎化を防止するには栗尾トンネルにかかっているのです！まず京北から周山街道を通り京都市内に出るのは車でも大変困難な道です。急カーブ、急勾配、狭い道だらけ。この周山街道は大型トラックや路線バス、観光バスがたくさん走る道です。大型車どうし対向するたびに一苦勞。そもそも周山街道のバイパス及び栗尾トンネルの建設の開始が遅すぎます。現在、中川トンネルを越えた亀石町付近のトンネルは開通したが、次のバイパス建設も急いで欲しい。公共交通機関について、京北からはどこに行くのも不便である。京北に鉄道はない。京北から周山街道を通過して市内へ出る唯一の乗り物はJRバスです！栗尾トンネルが開通したらJRバスも全力を尽くして欲しい！しかしJRバスは今も京北の足を確保しきれていないのが現実である。JRバスは京北の端っこ、周山までしかこない。その先の山国・黒田、宇津、弓削、田貫方面はすべて京北ふるさとバス任せである。ふるさとバスはJRバスとの接続が悪く、利用価値がないのが現状である。普段、車に乗って出かける人は道がよくなると楽だが、車に乗れない人たちは道が良くなっても意味がない不便な生活のままである。JRバス 高雄・京北線は西日本JRバスの中でも一番利用密度の高い路線だが、高雄より先の利用者が少ないため運営が厳しいのが現状である。せっかく道がよくなるのだから、一人でも多くの人に利用してもらうためにもっと利便性を高める必要がある。本数を増やしたり、運賃の値下げ、それから京北の皆さんにどのようにバスを運行したら便利かアンケートを取ったり。今のままの運営では利用者は増えません。バスを走らせるだけ税金の無駄です。とにかく周山街道が走りやすくなりバスも便利になったら、今後、京北過疎化は少しは防止できると思います。これからも期待しています！

バスの運行に関するご意見に対してご回答いただきました

いただいた「熱い想い」の中で、バスの運行に関するご意見がありましたので（財）きょうと京北ふるさと公社、西日本ジェイアールバス（株）京都営業所へ問い合わせたところ、以下のとおりメッセージをいただきました。ありがとうございました。

～（財）きょうと京北ふるさと公社 からのメッセージ～

平素は、京北ふるさと公社の運営に対しご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。栗尾通信読者からの便りを送付いただきありがとうございました。

京北ふるさとバスの運行については、ご存知のように、平成17年4月の京都市との合併時に約束されたように、本来、行政により地域住民の生活交通の確保をしなくてはならないものを、諸事情によりの農業公社である本公社が京都市から委託（事業主体はふるさと公社）をされ、京都市京北地域過疎地有償運送事業として京都市からの補助金により事業を実施しているものであります。

地域の活性化については地域住民、行政、関係団体が一丸となって取り組むべきものであり、ふるさと公社としても順次取組を進めております。

- ① 地域交通に関しては、西日本ジェイアールバスや南丹市営バスとの接続には十分配慮しております。
- ② 農業公社としての地域活性化の取組としては、都市住民との交流のため平成18年度から市民農園を開設し現在45区画、水稻オーナー7区画の契約をいただいております。あわせて、ウッディー京北において京北地域の特産加工品や新鮮野菜の販売を手がけており、平成20年度は飛躍的に取り扱いが増加し生産者の所得拡大に寄与しております。また、地域の高齢化の進行の中にあって、優良農地確保やさまざまな作業依頼に対し、田舎の便利屋事業を通じ努力をしております、このことは地域の雇用拡大にもつながることとなっております。

～西日本ジェイアールバス（株） 京都営業所 からのメッセージ～

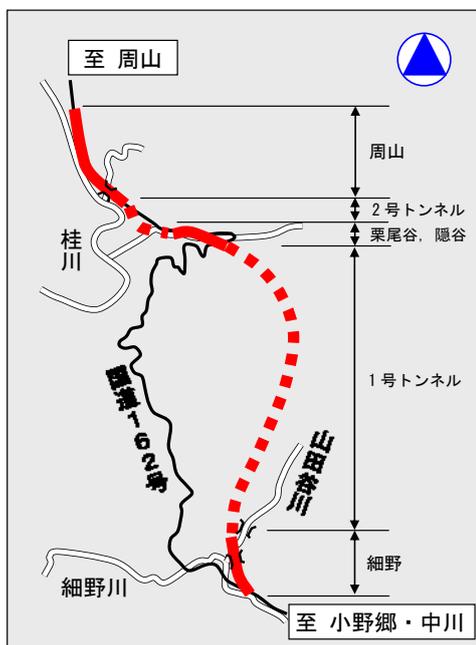
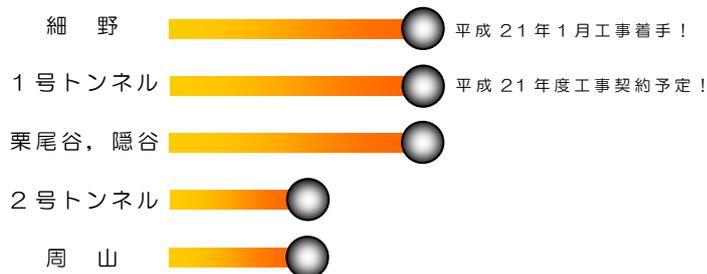
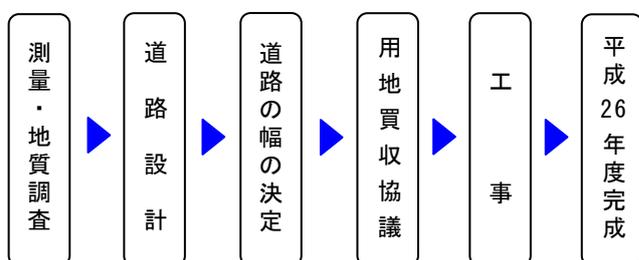
日頃は何かとお世話になり誠にありがとうございます。お便りを拝見いたしました。ふるさと周山と京北線を思う熱いものを感じるお便りであり大変うれしく思います。私共もできる限り地域住民の足として京北線を走り続けたいと願っております。しかしながら利用客の大幅な減少・マイカーの普及・また燃料価格の変動等、京北線の現状は大変厳しい状況にあります。経営において赤字経営は絶対に成り立たず、どうしても採算の合わない路線については減少せざるをえないという環境のもと今日の運行形態になってきています。今後も状況によっては大きな変動が予想されますが、今までにも京北振興会をはじめ、住民の方々より多くの要望を頂いておりますので、当所といたしましてもご期待にそえるようにできる限りの努力を行ってまいりたいと考えています。今後とも京北線運行に対しご理解とご協力、一人でも多くのご利用をお願い申し上げます。

最近の契約状況

業務名 用地測量業務委託
 受注者 菅測量設計株式会社
 契約日 平成20年11月19日
 業務の内容 現栗尾トンネルから周山道路までの区間の境界確定測量，買収用地範囲の測量を実施します。

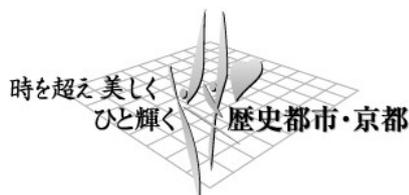
業務名 道路改築工事（細野工区）その1
 受注者 協和建設株式会社
 契約日 平成21年1月13日
 業務の内容 新設道路に新しくできる橋梁の下部工事と工事用の進入路の工事を実施します。

事業進捗状況！ (平成21年2月現在)



用地買収状況！ (注：トンネル区間は坑口部分のみの買収となります。)

	細野	栗尾谷, 隠谷	周山
用地買収率 (全体 20%)	28%	22%	0%



京都市建設局事業推進室

TEL (075) 213-3659 FAX(075) 213-0854

平成21年 3月 京都市印刷物第204632号